

もおか若者会議 1 班 テーマ：農村活用（田園風景、遊休農地など）

【つながりキャンプ】

①なぜ農村活用なのか？

【コンセプト】

- ・全国的な空き家が問題
- ・真岡市の空き家の魅力
→広い庭付き、休耕地がある
都心からのアクセスも良好



問題点を地域資源と捉え有効に活用

- ・都市部から人を呼び込めるのではない
- ・真岡市に関わる人をふやせるのではない

その方法が「つながりキャンプ」



②コンセプト

キャンプに来た人が

真岡の

人

地元の人の温かみに触れる

地域

特産品やお気に入りの場所を発見する

未来

真岡市に継続して訪れる

③特徴

施設の
利用者へ

【全ての機能を真岡で】

地域の情報を積極的に案内し利用してもらう
※近くにあるお店・観光情報など

『観光』『買い物』『体験』すべてを市内で完結

④参考 ～視察～

ワラサンキャンプサイト（益子町北中437-1 はぎわら観光(株)内）

視察の結果分かったこと



電気・水道・トイレが備わっていることで手軽に始められる



整地や設備が整えばキャンプ場として活用できる



・使われていない土地の有効活用にキャンプ場が最適

【つながりキャンプの3つの柱】

⑤将来像

みんなが集える空間

さまざまな人が集える空間が真岡市に増える

休耕地・空き家の活用

空き家や休耕地を活用し、衛生面・景観の整備をはかる

関係人口の増加

真岡市の内発的発展につながることや、真岡市を知ってもらう機会をつくる

空き家や休耕地等の課題解決と真岡市の魅力発信等を【つながりキャンプ】で実現！

⑥実証

- ・大学生5名を招待した、「つながりキャンプ」体験を実施

【内容】

- ・「あぐりっ娘」にて食材購入
- ・模擬収穫体験
- ・火起こし体験
- ・バーベキュー、豚汁づくり

→体験を行い、大学生の意見を抽出

【大学生の意見】

- ・キャンプと言えば、山や川のイメージ。
畑に囲まれたキャンプは初めてで貴重な体験。
- ・空き家を貸アパートのように毎日に貸出できれば、学生の利用も見込めるのではない。

など

⑦まとめ

- 土地と建物付きの物件さえあれば実行はしやすい
- 誰がやるのが課題（物件の所有者？農家さん？事業者？）
→・物件の所有者に提案を検討
・事業者と真岡市の空き家情報のマッチングを検討
- キャンプ場を作成し、ホームページで近隣スポットの紹介することで、掲載料をいただき収益を得ることも可能では？
- 収穫体験を「つながりキャンプ」のスパイスにすれば、作物を育てる難易度も低下するのではない。